

「学校文化を創る特別活動（高校編） ホームルーム活動のすすめ」 （教師向けパンフレット）について

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、高等学校における「特別活動」について、教師向けのパンフレット（「学校文化を創る特別活動（高校編） ホームルーム活動のすすめ」）を作成しました。当研究所が高等学校の特別活動について、教師向けパンフレットを作成するのは、今回が初めてとなります。

今後、本パンフレットを全国の教育委員会及び高等学校に配付し、特別活動の推進・充実を図ります。また、研究所ウェブサイトの中で広く一般にも公開する予定です。

1 作成の趣旨

特別活動は、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、「様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決する」ことを通して、資質・能力を育むことを目指す教育活動です。

平成 30 年 3 月に公示された学習指導要領において、特別活動では「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つの視点を手掛かりとしながら、目標や内容が整理されました。また、各活動・学校行事においては、学習過程を生徒が実感できるよう指導することが重要となります。そのためには、ホームルーム活動における「話し合い活動」の充実が求められます。複雑で変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく生徒だからこそ、この三つの視点を大事にしながらかホームルーム活動を充実させ、よりよい学校文化を創ることがますます求められて参ります。

本パンフレットでは、新学習指導要領に準拠して、ホームルーム活動に焦点化を図って、学習過程や指導のポイント等を事例とともに紹介しています。

今後、各高等学校で本パンフレットが有効に活用され、効果的な特別活動が展開されることを期待しています。

2 本パンフレットの主な特徴（内容については別紙参照）

- 平成 30 年 3 月に公示された新学習指導要領に準拠した内容
- ホームルーム活動に焦点化
- 学習過程や指導のポイント等について、見開きページで解説
- 写真やワークシート例などを活用し、学習過程や指導のポイント等を視覚的に理解しやすいように解説

3 今後の予定

- 国立教育政策研究所のウェブサイト(<http://www.nier.go.jp/>)への掲載（本日中）
- 全国の教育委員会及び高等学校への送付（8月中）

【本件担当】

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発課長 高井 修 電話：03-6733-6832（直通）

研究開発部教育課程調査官 佐藤 治郎 電話：03-6733-6824（直通）

「学校文化を創る特別活動（高校編） ホームルーム活動のすすめ」
（教師向けパンフレット）の内容について

pp. 1 特別活動の特質と構成

特別活動の年間の見通しや特質、特別活動を構成する「ホームルーム活動」、「生徒会活動」、「学校行事」の指導で留意すべきポイント等について解説しています。

pp. 2 ホームルーム活動のすすめ

ホームルーム活動の内容（１）と（２），（３）の学習過程や指導のポイント等について解説しています。

pp. 3-4 文化祭のクラス企画を決定しよう（ホームルーム活動（１）ウ）

集団として、合意形成を進める自発的、自治的な活動形態の事例を示し、学習過程や指導のポイント等を解説しています。

pp. 5-6 科目選択の場で、「夢実現の時間割」を作成しよう（ホームルーム活動（３）エ）

個人として、自己の生き方を意思決定していく自主的、実践的な活動形態の事例を示し、学習過程や指導のポイント等を解説しています。

pp. 7 先生方の疑問にお答えします。特別活動Q&A

「話し合い活動が活発になりません」「集団で活動している場面の評価はどうするのですか」など、特別活動の指導に当たってのポイント等をQ&A形式で解説しています。